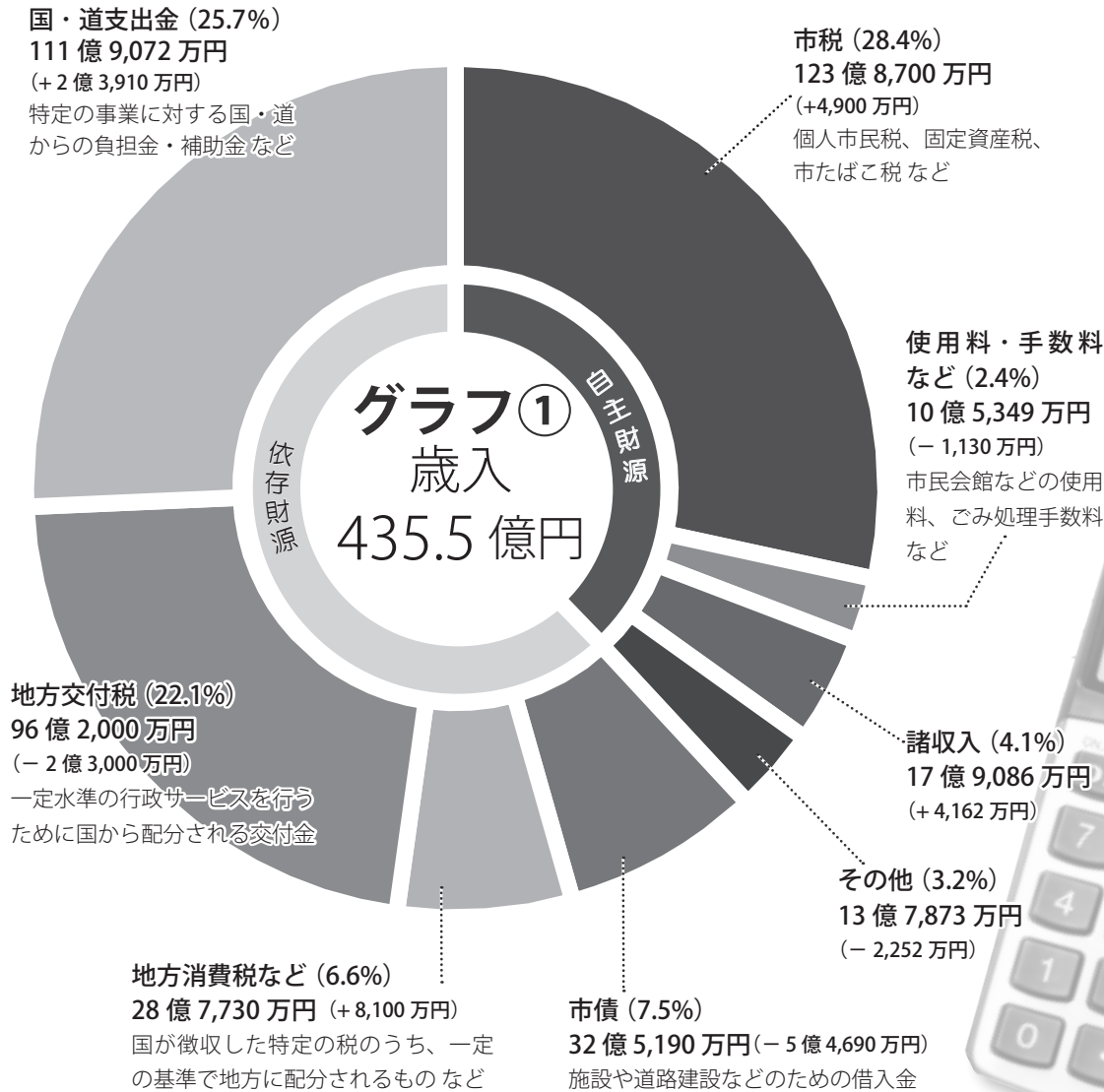
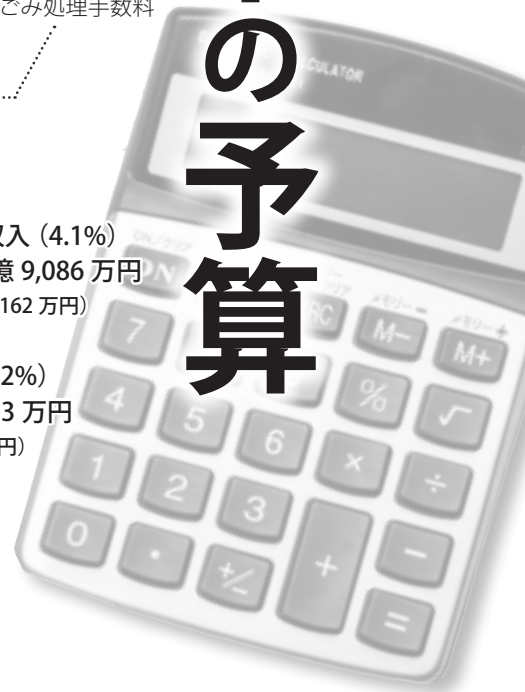


# 歳入

( )内は前年度比  
※1万円未満の金額を整理して記載しています

# 平成30年度江別市の予算

どう使う？ 私たちの税



## 平成30年度江別市予算 基本方針

第6次江別市総合計画「えべつ未来づくりビジョン」の5年目として、まちづくりの基本理念に掲げた「安心して暮らせるまち」、「活力のあるまち」、「子育て応援のまち」、「環境にやさしいまち」の4つの柱と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」を踏まえて予算を編成しました。

特に、「子育て支援」や「教育の充実」に重点を置き、引き続き人口減少対策を基本に、「観光による経済の活性化」や「市民の健康づくり」のための取り組みを進め、持続可能な社会の実現を目指します。

## 一般会計の予算規模は 4億円減

一般会計の予算は、435億5000万円、前年の439億5000万円から4億円(0.9%)減りました。また、特別会計と企業会計を含めた全会計の合計は、約857億8147万円となり、前年度と比べて約33億8530万円(3.8%)減りました。

## 収入はどんなになっているの？ 歳入の内訳 (グラフ①)

歳入を前年度と比較すると、市税は固定資産税の評価替えの影響などにより微増にとどまる一方、市債や地方交付税などが減少するため、総額では減少しています。

諸支出金・予備費 (12.9%)  
56億3,965万円 (-7,862万円)  
基金への積立金や、特別会計への繰出金など

公債費 (8.7%)  
38億1,344万円 (-2億2,931万円)  
市の借金(市債)や、その利子の返済

教育費 (5.2%)  
22億6,676万円 (-3億933万円)  
学校の管理運営や文化の振興

消防費 (1.0%)  
4億2,362万円 (+1億6,436万円)  
消防活動や救急活動

土木費 (11.3%)  
49億502万円 (-3億7,788万円)  
道路や公営住宅、公園などの整備

農林水産業費 (1.2%)  
5億1,898万円 (-6,493万円)  
農業や畜産業などの振興

議会費 (0.5%)  
2億3,949万円 (-275万円)  
市議会の運営

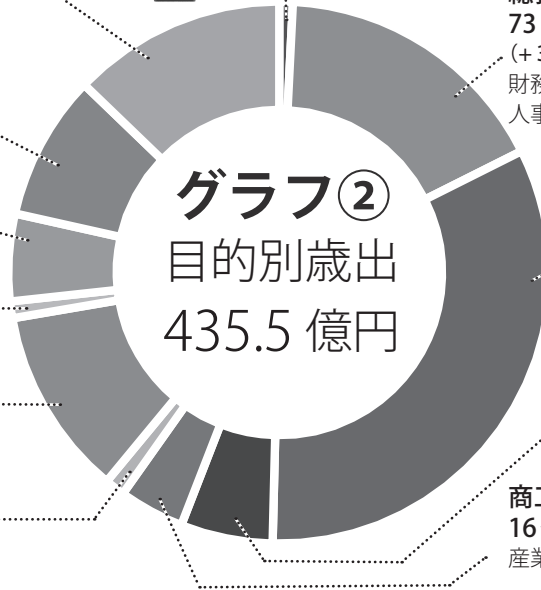
総務費 (17.0%)  
73億8,726万円 (+3,199万円)  
財務や税務、企画、人事、市民活動など

民生費 (32.8%)  
142億7,427万円 (+4億5,089万円)  
子どもやお年寄り、障がい者などの福祉

衛生費 (5.5%)  
23億9,973万円 (-394万円)  
健康増進や疾病予防、葬斎場、ごみ処理など

商工・労働費 (3.9%)  
16億8,178万円 (+1,952万円)  
産業の活性化と雇用の安定

# 歳出



繰出金・その他 (16.2%)  
70億6,161万円 (-4,905万円)  
特別会計への繰出金など

投資出費・貸付金等 (2.9%)  
12億7,073万円 (-2,603万円)  
融資制度のための貸付金など

投資的経費 (8.9%)  
38億9,935万円 (-11億1,880万円)  
公共施設や学校、道路などの建設事業

補助費等 (3.6%)  
15億5,723万円 (+3,145万円)  
各種団体への補助金など

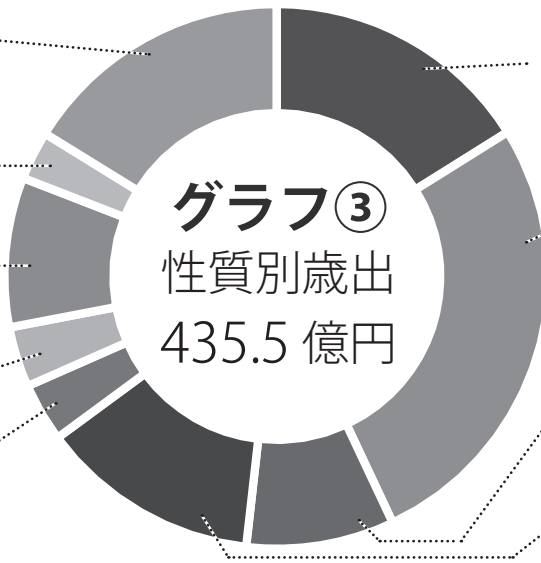
維持補修費 (3.5%)  
15億2,452万円 (+11万円)  
公共施設や道路などの修繕、除排雪

人件費 (16.1%)  
70億2,219万円 (+9,039万円)  
職員や議員の給与・報酬

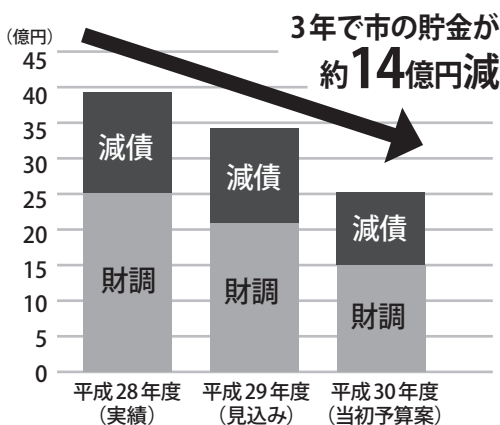
扶助費 (26.9%)  
117億159万円 (+8億6,508万円)  
医療費助成や生活保護などの福祉給付

公債費 (8.8%)  
38億1,342万円 (-2億2,924万円)  
市の借金(市債)や、その利子の返済

物件費 (13.1%)  
56億9,936万円 (+3,609万円)  
物品の購入や光熱水費、業務の委託など



グラフ④「財政調整・減債基金の推移」



予算はどう使われるの？  
歳出の内訳(グラフ②・③)

前年度と比較すると、投資的経費や公債費が減少する一方で扶助費が大幅に増加しています。また、人件費が増加しているほか、労務単価の上昇や燃油高騰の影響などを受け、物件費も増加しています。

前年度に引き続き財源が不足しているため、市の貯金である基金の取り崩しなどに対応していますが、基金残高は3年続けて減少する見込みとなっています(グラフ④)。

基金は、臨時的な短期の事業費増に対応するために取り崩すものであり、今後は、決算見込みに基づいて取り崩しの抑制や積み立てなどを行い、残高の確保に努めます。

これまで進めてきた行財政改革によるコスト合理化のもと、健全な財政の維持・向上に努めます。[詳細] 財政課 ☎ 381-1010

# 平成30年度 主な事業

平成30年度予算に計上した事業の一部を「えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉」で目指す4つの「まちづくりの基本理念」に沿って紹介します（新規事業には**新規**）。  
 詳しい事業の内容は、市ホームページ予算概要のページから「絵で見る江別市予算案」をご覧ください。



市民参加による公園づくり事業



総合防災訓練

<b>新規</b> 健康都市推進事業……………	371万円	新栄団地建替事業……………	4億1,509万円
<b>新規</b> 空家等対策推進事業……………	34万円	生活バス路線運行補助事業……………	3,000万円
健康教育事業……………	102万円	地域防災力向上支援事業……………	426万円
成人検診推進事業（結核予防・がん検診経費）…	7,513万円	高砂駅周辺整備事業……………	4,300万円
住宅取得支援事業（*詳細10ページ）……………	7,000万円	市民参加による公園づくり事業…	5,513万円
耐震化推進支援事業……………	231万円	除排雪事業・	
江別の顔づくり事業……………	11億3,952万円	自治会排雪支援事業……………	11億3,040万円



## 安心して暮らせるまち

子どもから高齢者まで、健康的に安心して暮らせるように、福祉・保健・医療サービスを充実させるほか、地域防災力を高め、安全・安心を確保することを目指します。



働きたい女性のための就職支援事業



学生地域定着自治体連携事業（大麻銀座商店街ブックストリート）

観光振興計画推進事業……………	1,600万円	都市と農村交流事業……………	160万円
地域発見魅力発信事業……………	698万円	6次産業化支援事業……………	253万円
総合特区推進事業……………	1,375万円	「食」と「農」の豊かさ発見実践事業…	441万円
江別駅前再開発事業……………	1億2,036万円	食を軸とした地場産品販路拡大支援事業	59万円
旧岡田倉庫活用事業……………	1,452万円	有給インターンシップ等	
経済活動広報事業……………	335万円	地域就職支援事業……………	1,309万円
商工業活性化事業……………	393万円	働きたい女性のための就職支援事業…	1,857万円
企業立地等補助金……………	8,381万円	スポーツ合宿誘致推進事業……………	301万円
都市と農村の交流センター管理運営事業…	2,222万円	学生地域定着自治体連携事業……………	346万円



## 活力のあるまち

人がいきいきと暮らす活気あふれるまちとなるように、市民の暮らしを支える農業や商工業などの市の産業を活性化し、生きがいや心の豊かさを育む文化、スポーツ活動などを充実させ、まちににぎわいや活力を生み出していくことを目指します。

第6次江別市総合計画  
「えべつ未来づくりビジョン」  
まちづくりの基本理念



安心して暮らせるまち



活力のあるまち



子育て応援のまち



環境にやさしいまち



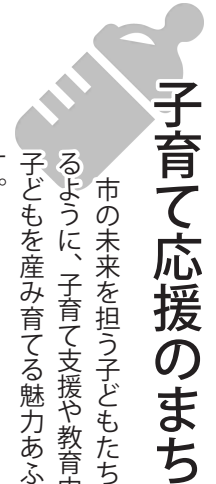
情報教育推進事業（タブレット端末を使った授業）



小中学校外国語教育支援事業

- 新規 放課後児童クラブ待機児童対策事業 437 万円
- 新規 医療的ケア児（者）受入促進事業… 510 万円
- 新規 子どもの生活実態調査事業…………… 341 万円
- 放課後児童クラブ運営費補助金…………… 1 億 742 万円
- 民間社会福祉施設整備費補助事業… 1 億 4,131 万円
- 待機児童解消対策事業…………… 3 億 2,390 万円

- 保育園運営経費等…………… 1 億 1,586 万円
- 小中学校外国語教育支援事業…………… 3,475 万円
- スクールソーシャルワーカー事業… 687 万円
- 情報教育推進事業（小・中学校）… 4,868 万円
- 乳幼児等医療費…………… 1 億 5,296 万円
- 病児・病後児保育事業…………… 2,096 万円



子育て応援のまち

市の未来を担う子どもたちが健やかに成長できるように、子育て支援や教育内容などを充実させ、子どもを産み育てる魅力あふれるまちを目指します。

一般会計以外の予算

市の予算には、一般会計のほかに、特別会計と企業会計があります。それぞれ、公共料金や利用料など独自の収入があり、会計の目的に沿った事業に充てられるため、事業の収支が明確に分かるよう一般会計と区別しています。

特別会計 242億5,500万円(-25億4,700万円)

- 国民健康保険 特別会計…………… 122 億 1,600 万円
- 後期高齢者医療 特別会計…………… 16 億 9,100 万円
- 介護保険 特別会計…………… 99 億 6,100 万円
- 基本財産基金運用 特別会計…………… 3 億 8,700 万円

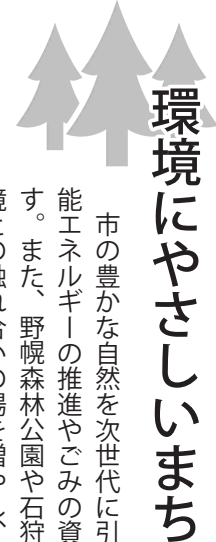
企業会計 179億7,647万円(-4億3,830万円)

- 水道事業 会計…………… 37 億 5,842 万円
- 下水道事業 会計…………… 57 億 2,436 万円
- 病院事業 会計…………… 84 億 9,369 万円

企業会計の詳細は6ページへ



市民植樹



環境にやさしいまち

市の豊かな自然を次世代に引き継ぎ、再生可能エネルギーの推進やごみの資源化を推進します。また、野幌森林公園や石狩川などの自然環境との触れ合いの場を増やし、人と自然が共生するまちを目指します。

- 自治会防犯灯設置費補助金  
(LED 灯設置費等補助) …… 1,182 万円
- 花のある街並みづくり事業 348 万円
- 地域緑化事業…………… 183 万円
- 環境教育等推進事業…………… 426 万円
- 生ごみ減量化推進事業…………… 40 万円

【詳細】市立病院管理課財務係 ☎ 382-5151

# 市立病院

## その他の収益 (2.2%) 1億7,500万円

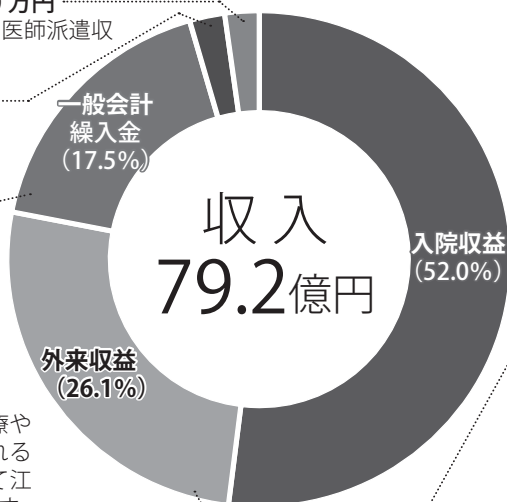
予防接種などの収入、近隣町村への医師派遣収入、臨床研修医指導への補助金など

## 企業債 (2.2%) 1億7,900万円

医療機器の購入や建物の改修などに充てるための銀行などからの借入金。設備投資の負担が集中しないよう、平準化が図られるほか、元利償還金(返済金)の一部は地方交付税として江別市の収入に算入されます

## 一般会計繰入金 13億8,600万円

地方公営企業法に基づき、救急医療や小児医療など、公立病院に求められる医療を提供するための経費について江別市一般会計から繰入を受けています



## 入院収益

41億1,700万円

- ・のべ入院患者数 9万885人
- ・一日平均患者数 249人
- ・病床利用率 一般78.8%  
精神50.8%

## 外来収益

20億6,700万円

- 外来診療や健康診断など
- ・のべ患者数 16万8,848人
- ・一日平均患者数 692人

※収入と支出の差は減価償却費などによるものです

## その他の費用 (4.8%) 4億1,100万円

院内保育所の運営経費、企業債の利息、消費税の支払いなど

## 企業債償還金 8億1,300万円

医療機器の購入や建物の改修などに充てるため、銀行等から借り入れた企業債の元金償還にかかる経費

## 建設改良費 (2.1%) 1億8,400万円

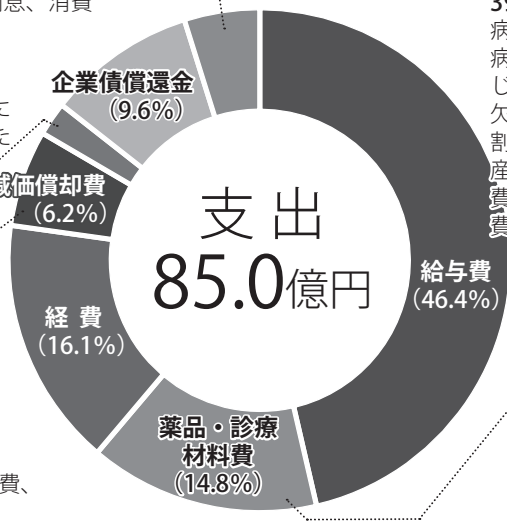
医療機器などの購入にかかる経費

## 減価償却費 5億2,700万円

建物や医療機器などの資産を耐用年数に応じて帳簿に計上するための費用。現金の支出は伴わない

## 経費 13億6,400万円

光熱水費、建物や医療機器の修繕費、清掃や設備メンテナンスなどの委託



## 給与費

39億4,000万円

病院職員の給与費総額。病院運営には、医師をはじめとする医療職が不可欠です。人の労力に頼る割合が大きい労働集約型産業である病院事業は、費用のおよそ5割を人件費が占めています

## 薬品・診療材料費

12億5,500万円

手術や注射・点滴などの処置に使用する材料や薬品の購入

市立病院では、地域の医療体制維持のため、医師の確保に努めるとともに、診療科間の連携強化により質の高い医療の提供を目指します。  
このため、平成30年度診療報酬改定への対応に加えて、今後の医療環境の

変化にも対応できるように、診療体制のあり方を再検討するとともに、新公立病院改革プランに基づく経費削減策・抑止対策の推進や病院経営情報などの積極的なPRに重点的に取り組み、経営の安定化を目指します。

区分	H30年度	H29年度	比較増減
単年度純損益	-1億2,174万円	-1億3,886万円	1,712万円
累積欠損金	85億3,415万円	84億1,234万円	1億2,181万円
不良債務残高	4億6,126万円	4億5,719万円	407万円

※単年度純損益／病院事業における年度毎の総収益と総費用の差額（投資等にかかる収益や費用は含まないためグラフに記載の収入と費用の差し引きには一致しません）  
※累積欠損金／毎年の単年度純損益の過去からの累積額（現金を支出しない減価償却費などを含ま帳簿上の金額）  
※不良債務残高／公営企業における資金の不足額

## 下水道事業会計 57億2,436万円

### 主な事業

- ・雨水管路整備事業……………721万円
- ・污水管路整備事業……………1億4,112万円
- ・管路施設改築更新事業……………1億4,617万円
- ・処理場・ポンプ場施設改築更新事業……………6億3,310万円
- ・処理場・ポンプ場施設耐震化事業 3,400万円

## 水道事業会計 37億5,842万円

### 主な事業

- ・基幹管路耐震化事業……………4億3,418万円
- ・配水管整備事業……………2億6,248万円
- ・配水施設整備事業……………6,261万円
- ・浄水施設整備事業……………2,794万円

【詳細】水道部総務課財務係 ☎ 385-1214

平成30年度の上下水道事業は、中期経営計画に基づき、基幹管路の耐震化や污水管路の整備などを行います。

# 上下水道

今年度は3年に一度の評価替え

# 固定資産の評価額 を見直します

〔詳細〕 資産税課 ☎ 381-1404

## 固定資産税ってどんな税金？

固定資産税は、毎年1月1日現在、市内に土地・家屋・償却資産を所有している方に対して、その固定資産の「適正な時価＝評価額」を基準として課税し、納めていただく税です。都市基盤の整備、福祉や教育など市民の身近な行政サービスに使われています。江別市の場合、市税収入の約4割を固定資産税が占めています。

また、固定資産税と共に納める都市計画税があり、都市計画事業や区画整理事業費用に充てられています。

## 固定資産の評価替えとは？

評価替えとは、3年間の資産価格の変動に応じて評価額を適正かつ均衡のとれた価格に見直す制度です。

なお、宅地などの価格は、評価額を据え置くことが適当でないときは、評価替えの年でないときでも、簡易な方法により評価額の修正を行っています。

## 平成30年度評価替えのポイント

### 1. 土地

平成29年1月1日（価格調査基準日）時点の地価公示価格や不動産鑑定価格を基に評価を行っています。価格調査基準日以降に地価が下落している地域は、半年間の変動率によって、評価額を修正します。

#### ●土地の負担調整措置

課税の公平の観点から、税負担の調整を行います。税負担の高い土地は、税の引き下げまたは据え置き、税負担の低い土地は段階的に税負担を上昇させる仕組みです。

### 2. 家屋

現時点で同じ家屋を建てたときにかかると見込まれる金額（再建築価格）と、家屋が古くなることで下がった価値（減点補正率）で評価額が決定します。

平成30年度は物価の変動により、再建築価格の補正率が上昇したため、今回の評価替えで評価額が下がらない場合があります。

評価額の確認ができます

## 固定資産閲覧制度・縦覧制度

### 固定資産の閲覧制度

固定資産税の納税義務者が、所有する資産が記載された課税台帳を見ることができる制度で、納税義務者ごとにまとめた台帳（名寄帳）を閲覧することができます。

**対象** ①固定資産税の納税義務者（個人の場合は同居の家族を含む。法人の場合は代表者）、②納税義務者の代理人、③納税管理人、④借地人・借家人などの、土地・家屋の使用や収益を目的とする権利（対価が支払われるものに限る）がある方。※権利と関係ない土地・家屋は閲覧できません

**閲覧開始日** 4月2日(月)から開始

**手数料** 1件につき300円

※5月31日(木)までは当年度分に限り無料

**閲覧・縦覧場所** 市役所本庁舎1階8番・9番窓口  
資産税課 ☎ 381-1404

### 固定資産の縦覧制度

納税者が、自己の土地・家屋と市内の他の土地・家屋の評価額を比較できる制度です（償却資産は縦覧の対象ではありません）。また平成30年度で土地の評価額を下落修正した地区の一覧表や、路線価図などもご覧になれます。

**対象** ①固定資産税の納税者（個人の場合は同居の家族を含む。法人の場合は代表者）、②納税者の代理人、③納税管理人

※市内に土地・家屋を所有していない方や、市内の土地・家屋に課税されていない方は縦覧できません

**期間** 4月2日(月)～5月31日(木)

**手数料** 無料